

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【公開番号】特開2000-19496(P2000-19496A)

【公開日】平成12年1月21日(2000.1.21)

【出願番号】特願平10-189372

【国際特許分類第7版】

G 02 F 1/1333

G 09 F 9/00

【F I】

G 02 F 1/1333

G 09 F 9/00 304 B

G 09 F 9/00 360 Z

【手続補正書】

【提出日】平成15年8月8日(2003.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光をライトバルブ手段に照射し、該ライトバルブ手段から出射した光を投射する光学装置であって、

該光学装置の筐体側面に設けられた吸入口と、

該吸入口を介して外気を取り入れ、送風するための送風手段と、

該送風手段の出口から前記ライトバルブ手段の間に設けられた送風路とを有し、

該送風路は、該送風路内に設けられた案内部材により2つの流路が構成され、該2つの流路のそれぞれを通る風は、前記ライトバルブ手段の入射側と出射側のそれぞれを冷却することを特徴とする光学装置。

【請求項2】

前記送風手段は、前記吸入口から第1の方向で空気を吸いし、第1の方向に対して略垂直な第2の方向に送風出力する遠心ファンであることを特徴とする請求項1に記載の光学装置。

【請求項3】

前記筐体の何れかの側面に設けられた排気口と、

該排気口を通して排気するための排気手段とを設けたことを特徴とする請求項1乃至請求項2の何れか一項に記載の光学装置。

【請求項4】

前記排気口は前記吸入口が設けられている前記筐体側面とは異なる側面に設けられたことを特徴とする請求項3に記載の光学装置。